

介護職のキャリアアップに対応した資質向上体制表

春うらら

| 職階 | レベル | 役割 | 経験年数 目安 | 期待基準 | 主要な教育テーマ | 人材育成の施策 | | |
|-----|-------|--------------------|---|--|--|--|--|--|
| | | | | | | 社内研修 | OJT・ミーティング 已啓発 | 資格・免許・講習等 |
| 管理職 | 6 | 役員 | 5年以上 | ・事業主責任者として、サービス全体の運営方針及び目標の設定を行い、その現実に向けて統括する。 | ・責任者の求められるマネジメント業務の習得。 ・リーダーシップの展開 ・総合的判断力や課題形成力を高める。 ・戦略策定、実践力の展開 | ・責任者研修 ①経営管理 ②運営管理 ③戦略策定 ・専門的項目 ①サービス管理 ②地域包括ケア 地域密着型 サービスへの転換 | ・目標設定と実践、検証 ①財務②業務③人材育成 ④顧客満足⑤自己啓発 ・管理者会議 ・人事考課、面談、目標管理 ・外部研修参加 | 1. 経営管理力、マネジメント力、戦略思考等を高めるための研修・講習 2. 人材マネジメント、指導、育成力を高める研修・講習 3. 専門技術・知識を高める・講習 ・介護支援専門員 ・社会福祉士 ・介護福祉士 ・認知症介護実践リーダー研修 ・認知症対応型サービス事業管理者研修 ・認知症介護実践者研修 ・精神障害者ホームヘルパー ・ガイドヘルパー |
| | 5 | 統括部長 | | ・複数サービス、複数事業所の責任者として、全体の運営方針及び目標の設定を行い、その現実に向けて統括する。 | ・複数サービス、複数事業所の責任者に求められるマネジメント業務を習得する。 ・リーダーシップの展開 ・総合的判断力や課題形成力を高める。 ・戦略的発想を身につける。 ・地域福祉の推進役としての力量を高める | ・複数事業所責任者研修 ①マネジメント ②事業所運営管理 ③サービス向上管理 ④地域包括ケア・地域密着型 サービスへの転換 | ・目標設定と実践、検証 ①財務②業務③人材育成 ④顧客満足⑤自己啓発 ・管理者会議 ・人事考課、面談、目標管理 ・外部研修参加 | |
| | 4 | 管理者 | | ・単一サービスの責任者として、運営方針及び目標の設定を行い、その現実に向けて業務全体を統括する。 | ・管理者に求められるマネジメント業務を習得する。 ・事業運営、管理の知識、技術を習得する。 ・チームマネジメント・リーダーシップ・部下指導力、人材育成に努める。 ・チームケア・連携の知識・技術を学ぶ。 ・サービス管理能力を高める。 | ・管理者研修 ①マネジメント ②リーダーシップ・コーチング ③問題解決 ④地域密着型サービスへの転換 | ・目標設定と実践、検証 ①財務②業務③人材育成 ④顧客満足⑤自己啓発 ・管理者会議 ・人事考課、面談、目標管理 ・外部研修参加 | |
| 一般職 | 3 | （生活チーム提供責任者・リーダー等） | 3年以上 | ・チームのリーダーとして管理者を補佐し、サービスの管理、スタッフの指導、業務の企画・立案・業務改善を行う。 | ・小規模グループのリーダーに求められるマネジメント業務の習得。 ・チームマネジメント、リーダーシップ ・部下指導、人材育成の基礎を身につける。 ・サービスの質の向上や業務の改善力、問題解決力を高める。 ・専門性の深化・拡大に努める。 | ・管理者研修 ①マネジメント ②リーダーシップ・コーチング ③問題解決 ④地域密着型サービスへの転換 | ・目標設定と実践、検証 ①財務②業務③人材育成 ④顧客満足⑤自己啓発 ・管理者会議 ・人事考課、面談、目標管理 ・外部研修参加 | ・福祉住環境コーディネーター ・福祉用具専門相談員 ・福祉レクリエーションワーカー ・精神保健福祉士 ・ヘルパー1級 ・介護職員基礎研修 |
| | 2または1 | 中級介護員 | 1～3年 | ・基礎的な実務知識、技能を応用し比較的難易度の高いケースも対応。 ・決められた内容のサービスや業務を手際よく効率的に実施。 ・利用者のニーズ状況に適切に対応。 | ・実践的な介護技術・知識を習得する。 ・現場における状況判断力を高める。 ・専門性をより高める。 ・改善提案力を高める。 | ・現任介護職研修 ①チームワーク ②コミュニケーション ③実践的な介護技術・知識 | ・先輩職員による計画的OJT ・カンファレンス・事例検討 ・人事考課面接・目標管理 ・資格取得支援・外部研修 | |
| | 初級介護員 | 1年未満 | ・基礎的な実務知識、技能を有し、比較的難易度の高いケースを担当する。 ・決められた内容のサービスや業務を、決められた手順で実施する。 | ・スムーズな職場適応を図る。 ・社会人・組織人としての自覚を養う。 ・初期の不安や悩みをフォローする。 ・基本的な制度・サービスを理解する。 ・基本的な介護技術・知識を習得する。 ・サービス実践力を高める。 | ・新人研修 ①組織の理念 ②コンプライアンス ③制度サービスの理解 ④基本的な介護技術 ⑤不安や悩みの共有 | ・OJTリーダーによる個別指導 ・カンファレンス・事例検討 ・人事考課面接・目標管理 ・資格取得支援・外部研修 | | |